

群馬県ナシIPM実践指標

(普及指導室)

分類	管理項目	管理ポイント	チェック欄				
			点数	昨年度の実施状況	今年度の実施目標	今年度の実施状況	
予防	病害虫・雑草の発生しにくい環境整備	伝染源・中間寄主植物の除去	なし園及び周辺部から病害の伝染源または中間寄主を除去している	1			
		放任園(樹)対策	なし園周辺の放任園、放任樹の解消に取り組んでいる	1			
		防除ネット等の整備	ほ場に多目的防災網等を設置して強風等による病害の蔓延を防止している	1			
		適正な整枝せん定	適正な栽植密度を確保し、薬剤の散布効率、作業性、受光状態を考慮したせん定をしている(必)	1			
		越冬密度低減	粗皮削り・イボ削り・落葉処理を実施している(必)	1			
			落葉・せん定枝を園外に持ち出して処分している(必)	1			
		芽かき	春先に芽かきをして、通風・日当たりよくしている(必)	1			
		樹間の下草管理及び有機物の補給	草生栽培を実施して、機械除草した草を樹冠に敷草している(必)	1			
		樹冠下の下草管理	樹冠下の機械除草または稲わらマルチ等で雑草を抑制し除草剤使用を削減している(必)	1			
		適正な樹勢の維持	樹勢に応じた着果量としている(必)	1			
			適切な肥培管理により適正な樹勢を維持している	1			
			有機質の施用と土壌分析を活用した土壌改良を実施している	1			
		園管理	なし園に他の果樹を混植していない	1			
判断	防除可否・判断	生育状況把握	最適な散布時期を判断するため自園の生育状況を把握している(必)	1			
		発生予察	フェロモントラップを利用した害虫発生消長調査により防除時期を把握している	1			
		発生予察情報の確認	病害虫発生予察情報を活用している(必)	1			
		観察	観察により自園での病害虫の発生状況を確認し、防除要否と防除時期を判断している(必)	1			
薬剤散布後は次回防除の判断基準の一つとして防除効果を確認している(必)	1						
防除	物理的防除	感染防止	胴枯病等の被害部位は、見つけ次第削り取る等治療処置をしている	1			
			シンクイムシ類、黒星病等の被害果を早期に園外持ち出し土中処理等をしている(必)	1			
	生物的防除	アピロン剤の使用	交信攪乱剤を導入し農薬散布回数の削減に取り組んでいる	1			
	化学的防除	薬剤散布時期	殺菌剤は降水量により薬剤の散布間隔を決定している	1			
			殺虫剤は残効期間を考慮し散布間隔を決定している	1			
		散布方法及び量	十分な薬効が得られる範囲で最小量となる散布方法を検討し、散布量を決定している	1			
		薬剤選択	薬剤抵抗性対策としてローテーション散布を実施している	1			
		薬剤使用	農薬ごとに定められている使用基準、使用方法を守っている(必)	1			
			飛散防止	近隣の生産者と連携し飛散防止対策を実施している(必)	1		
	周辺への飛散防止に注意している(必)	1					
その他	研修会への参加	指導機関の実施する講習会や研修会に積極的に参加し病害虫及び農業に関する知識を得ている	1				
	記 帳	農薬の散布履歴、病害虫の発生状況、IPMに係わる栽培管理状況を作業日誌として記録している(必)	1				
			合計 点数				
			評価 結果				

群馬県リンゴIPM実践指標

(普及指導室)

分類	管理項目	管理ポイント	チェック欄				
			点数	昨年度の実施状況	今年度の実施目標	今年度の実施状況	
予防	病害虫・雑草の発生しにくい環境整備	伝染源・中間寄主の除去	りんご園及び周辺部から病害の伝染源または中間寄主を除去している	1			
		放任園(樹)対策	りんご園周辺部から放任果樹園(樹)の解消に取り組んでいる	1			
		適正な整枝せん定	適正な栽植密度を確保し、重なり枝の間引きや枝つりで通風、作業性をよくしている(必)	1			
		越冬密度低減	粗皮削り、イボ削り、病斑枝の除去をしている(必)	1			
			落葉・せん定枝を園外に持ち出して処分している(必)	1			
		徒長枝・ヒコバエの適正管理	徒長枝・ひこばえ等病害虫の温床になる部分の除去している(必)	1			
		樹間の下草管理及び有機物の補給	草生栽培を実施して、機械除草した草を樹冠に敷草している(必)	1			
		樹冠下の下草管理	樹冠下の機械除草または稲わらマルチ等で雑草を抑制し除草剤使用を削減している(必)	1			
		適正な樹勢の維持	樹勢に応じた着果量としている(必)	1			
適切な肥培管理により適正な樹勢を維持している	1						
有機質の施用と土壌分析を活用した土壌改良を実施している	1						
園管理	りんご園に他の果樹を混植していない	1					
判断	防除可否・判断	生育状況把握	最適な散布時期を判断するため自園の生育状況を把握している(必)	1			
		発生予察	フェロモントラップを利用した害虫発生消長調査により防除時期を把握している	1			
		発生予察情報の確認	病害虫発生予察情報を活用している(必)	1			
		観察	観察により自園での病害虫の発生状況を確認し、防除要否と防除時期を判断している(必)	1			
防除	物理的防除 生物的防除 化学的防除	感染防止	腐らん病・赤衣病の病幹部は見つけ次第切除又は削り取る等の治療処置を行っている(必)	1			
			シンクイムシ類、モモチョキリソウムシ、炭そ病、黒星病等の被害果は園外に持ち出し土中処理等をしている(必)	1			
		フェロモン剤の使用	交信攪乱剤を導入し農薬散布回数の削減に取り組んでいる	1			
		薬剤散布時期	殺菌剤は降水量により薬剤の散布間隔を決定している	1			
			殺虫剤は残効期間を考慮し散布間隔を決定している	1			
		散布方法及び量	十分な薬効が得られる範囲で最少量となる散布方法を検討し、散布量を決定している	1			
			薬剤使用	農薬ごとに定められている使用基準、使用方法を守っている(必)	1		
			薬剤散布後は次回防除の判断基準の一つとして防除効果を確認している(必)	1			
		選択制農薬の使用	土着天敵や訪花昆虫に影響の少ない選択性農薬を使用している	1			
		薬剤選択	薬剤抵抗性対策としてローテーション散布を実施している(必)	1			
飛散防止	近隣の生産者と連携し飛散防止対策を実施している(必)	1					
	周囲への飛散防止に注意している(必)	1					
その他	研修会への参加	指導機関の実施する講習会や研修会に積極的に参加し、病害虫及び農薬に関する知識を得ている	1				
	記 帳	農薬の散布履歴、病害虫の発生状況、IPMに係わる栽培管理状況を作業日誌として記録している(必)	1				
			合計 点数 評価 結果				